

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)		-	-	-
		商店街（代表者）	来客数の動き	・10連休の効果がかかり出ている。観光客も多かったが、地元県内の客も来街して、かなり消費も増えた。また、改元という明るい話題が、消費者マインドに影響を与えたようだ。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・母の日などの贈り物商材を選ぶ際に、前年までは値段の安いものや予算を伝えて購入する人が多かったが、今年は商品を見て気に入ったものを購入する人が多かった。購入金額も少し高くなり、個人の贈り物としては高額な商品も動いた。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・競合店の増加で来客数は微減したが、客単価の増加で売上高は前年を超えている。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・来客数は多いとはいえないが、来店すれば客単価は割と大きい。景気が以前より悪いとは感じない。
		商店街（代表者）	それ以外	・県の企画によるイベントが5年目を迎え、今年も春秋2回行われることになっている。5月4～6日にかけて、春のイベントが商店街を中心に3日間行われ、県内外から7万人の集客があった。また、関連商品の店が空き店舗に2軒入店した。さらに、eスポーツの普及を受けて、事務局を常設する動きも出てきている。
		商店街（事務局長）	来客数の動き	・米中の貿易摩擦や英国のEU離脱の行方、中東の情勢等、世界経済の下振れ要因が同時多発しており、予断を許さない状況である。消費者も買物に慎重にならざるを得ず、政治的なかじ取りが今後の消費を大きく左右する。
		百貨店（販売促進）	販売量の動き	・インパウンドは中国の電子商取引法の影響でマイナス傾向にある。一方で、気温が一気に上がったことで、季節商材である夏物は好調であった。
		スーパー（企画担当）	お客様の様子	・ほぼ年間を通して価格の上昇が続いている。その結果、客が少しでも安いものを探してスーパーだけでなく、ドラッグストアやコンビニ等、業種を越えて買い回りをする傾向が継続している。そのため来客数、買上点数において、前年比で厳しい店舗が増えている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・何年ぶりかに、前年並みに届きそうだ。何とかこのまま維持してほしい。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・来客数が前年割れする傾向は変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・この5月は過去に例を見ないような大型連休があり、連休中は非常に好調だった。連休以降は、ある程度予測はしていたが、落ち方が大きく、最終的にはそこそこのプラスでの着地となった。天候に恵まれながら、少し後半が厳しかった。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の受注状況は4月以降も対前年を上回るペースで推移している。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・消費税の引上げ前だが大きな動きはない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	販売量の動き	・10連休中の旅行者による土産や飲食の上乗せはあったものの、それを除くとふだんと変わらない。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・4～5月は連休で集中的に大勢の客が来たが、月間を平均すると、前年より良くない。当温泉地は温泉の本館改修等をしており、また改築している旅館もあるため、今の状態では当面良くなることは期待できない。
	都市型ホテル（経営者）	単価の動き	・やはり単価がなかなか上げられない。レストラン、飲食部門については、原材料費の値上げを背景に、ある程度は値上げすることができるが、宿泊料金については、ここ数年、なかなか値上げを試みても定着しない。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・この時期の客は、ほぼお遍路の参拝者だが、3～4月と比べて今月も余り変わらず、横ばいである。	

	通信会社（営業部長）	販売量の動き	・例年、ゴールデンウィーク以降は販売量が落ち込むが、今年は落ち込みがほぼない。ただし、販売量的には好調なもの、低価格の商品のボリュームが増大しているため、トータルでは大きく変わっていない。	
	通信会社（技術）	販売量の動き	・当社のサービスのうち利益率の良いサービスの販売量が増加傾向にあったが、解約も発生しつつある。	
	通信会社（支店長）	販売量の動き	・特段の変化は見られない。	
	競輪競馬（マネージャー）	お客様の様子	・来場客の様子から見て、依然として消費意欲は上向いておらず売上状況も横ばいで推移している。	
	商店街（代表者）	お客様の様子	・大型連休があり多少は消費が増加したが、連休以外は消費の減少がみられる。消費税の引上げが近くなっており客の消費意欲は顕著になっている。	
	一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・大型連休後の繁華街の飲食店はどこも暇だったようで、酒類の納品数量も減少した。	
	百貨店（営業管理担当）	来客数の動き	・過去最大のゴールデンウィークに期待して動員強化したが、来客数はマイナスだった。輸入時計や化粧品などは一部好調だったが、大型連休に伴う県外への流出を止められずに全般的には苦戦した。	
	スーパー（財務担当）	販売量の動き	・10連休後の平日の前年割れが大きい。	
	衣料品専門店（営業責任者）	販売量の動き	・売上は前年比で5%程度のマイナスで推移しており、客の購買意欲が下がっている。買上点数が減少傾向にあり、売上減につながっている。	
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・フェアを行っても販売は伸びず、目標には全く届かない。	
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・大型連休で散財したことでの反動で、ここ最近では来客数が少ない。	
	スナック（経営者）	お客様の様子	・連休明けから客の動きが鈍い。令和最初のジューンブライドで結婚式は多いが、団体に動くため、当店は週末でも来客数が少ない。	
	旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・ゴールデンウィークで旅行等に出掛けた影響か、出費が多かった影響かは定かではないが、夏の受注が前年を割り込んでいる。	
	美容室（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークが終わって暇になった。	
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・以前よりも若干、民間での計画物件の数が減ってきたように思う。	
	×	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・書店業界には10連休はプラスに働いていない。店頭売上は、ふだんの平日より少し良い程度である。外商売上は届け先が休みなので、前年同月比マイナスとなった。
	×	スーパー（店長）	来客数の動き	・1人当たりの買上点数や販売単価は変わっていないのに、売上は伸びない。人口減で来客数が減っている。
	×	乗用車販売業（営業担当）	販売量の動き	・ゴールデンウィークで定休日もあり稼働日数が少ないこともあるが、予想以上に販売数や来客数が少ない。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・客の乗車率は、ここ3年で30%下落している。客の話では、飲み会も少なくなっている。昼は、デマンドタクシーが走っているため、当市内の山間部や、バス路線が廃止になった地域の人の乗車率が悪い。
企業 動向 関連 (四国)	-	-	-	
	木材木製品製造業（営業部長）	受注量や販売量の動き	・4～5月と受注量は大きく増大している。住宅メーカーの受注残も約3割程度増加しており、上期は好調に推移するだろう。消費税の引上げの影響を受けている。	
	鉄鋼業（総務部長）	受注価格や販売価格の動き	・販売量は変化ないが販売価格はやや上昇している。	
	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今年はゴールデンウィークが長く、事前にある程度は売れ筋商品を準備していたが、店頭で欠品が発生したことで、当社としても売上が伸びなかった。	
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・5月は連休もあり、生産も減少し、販売額、受注量共に今までより減少している。	
	化学工業（所長）	受注量や販売量の動き	・ゴールデンウィーク前は売上が増加したが、5月は反動があったため、トータルでは変わらない。	

	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・地域によるばらつきが継続しており、全体としては変わらない。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・再生可能エネルギーは、非常に下火である。工事は非常に単価がきつい。運営も再生可能エネルギーの固定価格買取制度の影響でなかなかうまくいかない。特にバイオマスは行き詰まっており、その打開のために苦労している。
	電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・製品の出荷量について、3か月前と比べておおむね同程度で推移している。したがって、収益面に関しても大きな変動はない。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新年度になってから思うようには受注が伸びない。
	輸送業（経営者）	取引先の様子	・おおむね好調だが、やはり景気先行きの不安からか慎重な意見が多い。
	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・5月は商業小口貨物の取扱い物量が前年比、前月比において減少傾向で推移した。大型連休中に消費が集中したことから、その反動を受け消費者の購買意欲が低下している。6月は梅雨入りし天候も雨天続きになることから、消費者の活動も鈍化し購買意欲の向上は余り期待できない。
	農林水産業（職員）	取引先の様子	・卸売価格は低調で軟弱葉物類等の価格は、生産原価並まで値下がりしている。
	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ゴールデンウィーク明けより受注量が減少している。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・第1四半期は、例年、公共事業の端境期に当たるため発注量が少なく、前年度の繰越業務の処理で売上を上げている。今年度も、補正予算、複数年業務の発注が例年より多く、手持ち業務が多くなっているものの、手持ち量も次第に減ってきているため、業績は数か月前と比べると悪くなっている。
	建設業（総務）	受注価格や販売価格の動き	・案件、受注価格共に減少傾向にある。
	輸送業（経理）	受注量や販売量の動き	・米中の貿易摩擦による客の対外輸出商品量の減少が徐々に表れつつある。またそれに伴い、国内の企業需給調整等による国内貨物輸送の鈍化も顕在化しつつある。
	金融業（副支店長）	取引先の様子	・個人事業主の確定申告を多数見たが、全般的に右肩下がりであった。また大型連休がマイナスに作用した会社も多かった。
	公認会計士	取引先の様子	・今月の各法人の決算、並びに試算表を分析すると、前年比でほとんど変わらないところが多いが、若干、赤字に転落している業種が増えてきている。
	x	-	-
雇用 関連 (四国)	学校[大学]（就職担当）	それ以外	・5月は瀬戸内国際芸術祭の春会期が開催されていたため、観光客が増加していた。
	人材派遣会社（営業）	雇用形態の様子	・前年度末の派遣スタッフの契約満了の際に、契約更新をせず、人材が不足し、それ以降新たな人材の引き当てができていない現場が見受けられるが、業務の効率化を図る機会と捉えている。
	職業安定所（求人開発）	それ以外	・4月の有効求人倍率は1.49倍で、3か月前と比べて0.28ポイント減少しているが、例年4月は3月よりも数値が減少する傾向にあり、前年同月より高い数値となっている。
	民間職業紹介機関（所長）	雇用形態の様子	・県事業で入職者の合同入職式を予定しており、その対応として高齢者福祉施設を訪問しているが、多くの施設が新卒の採用予定者数を充足できていない。また、中途採用者に関しても、入職しても長続きしないようであり、人材確保に苦心しているという話が多い。
	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・これまでコンスタントに依頼が来ていた企業からの受注が減少傾向にある。
	求人情報誌（営業）	採用者数の動き	・周辺企業の採用状況を見ると、採用コストを掛けられず人員を充足しないまま採用を諦める企業が増加している。そのため、業績の見込みも横ばい若しくはやや悪化の傾向にあるところが増えている。

	新聞社 [求人広告] (担当者)	それ以外	・業界としては、少なくなっているパイを取り合うため、競争がますます進んでいる。
x	人材派遣会社 (営業担当)	周辺企業の様子	・米中の貿易摩擦問題などにより、製造業では求人を控える傾向にあり派遣業は悪化している。